

ネパール政治ニュース (18年2月) ヘッドライン

政 治	
内政	<p>(1) 1日、州3は第一回州議会を開催。</p> <p>(2) 4日、州2, 5, 6, 7の各州は、第一回州議会を開催。</p> <p>(3) 5日、州1, 4の各州は、第一回州議会を開催。</p> <p>(4) 7日、連邦上院議会選挙が実施され、ネパール共産党統一マルクス・レーニン主義派 (UML) とネパール共産党マオイストセンター (MC) の左翼連合が39議席を獲得した。ネパール・ कांग्रेस (NC) は13議席にとどまった。</p> <p>(5) 9日、ネパール選挙管理委員会が、連邦下院議会比例代表選挙 (全110議席) の政党別の獲得議席数を正式に公表した。UML41議席、NC40議席、MC17議席、国家国民党 (RJP-N) 6議席、連邦社会主義フォーラム・ネパール (FSF-N) 6議席。</p> <p>(6) 9日、連邦下院議会における総獲得議席数 (小選挙区と比例の合計275議席) が確定した。UML121議席、NC63議席、MC53議席、RJP-N17議席、FSF-N16議席、その他5議席となった。</p> <p>(7) 13日、KPオリUML議長とプシュパ・カマル・ダハルMC議長は、長時間にわたる会談を行い、両党統合に係る権限の分担にほぼ合意した。また、両議長は、首相職と新政党の議長職を2年半ごとに交替で担い、新政党の第一回の党大会までは共同議長を務めることに合意した。</p> <p>(8) 15日、シェル・バハドゥル・デウバ首相は、国民に向けたテレビ演説を行い、首相辞任を発表した。演説の中で、デウバ首相は、連邦・州・地方議会の3つの選挙の実施と、新憲法の実施が、デウバ政権における最大の成果であると述べた。</p> <p>(9) 15日、デウバ首相の辞任表明の後、憲法第76条2項に従い、KPオリUML党首が首相に任命された。オリ首相が首相職に就くのは、2015年10月10日に就任して以来である。</p> <p>(10) 15日、KPオリ首相は、2名の閣僚 (人口・環境大臣、女性・子供・社会福祉大臣) を任命した。</p> <p>(11) 19日、KPオリUML党首とダハルMC党首は党統合に係る合意文書に署名を行った。</p> <p>(12) 26日、KPオリ首相は、新たに4名の閣僚 (国防大臣、内務大臣、産業・商業・供給大臣、財務大臣) を任命した。</p> <p>(13) 28日、政府は、国家調査局、国税査察監査局、マネロン調査局を首相府直轄とすることを決定。</p>
外交	<p>(1) 1-2日、スワラージ・インド外相がネパールを訪問した。スワラージ外相は、バンダリ大統領及びデウバ首相を表敬し、オリUML議長等</p>

	<p>と会談した。</p> <p>(2) 12-14日、ビピン・ラワット・インド陸軍参謀長がネパールを訪問した。</p> <p>(3) 20日、ネパール訪問中の郭業洲 (Guo Yezhou) 中国共産党中央対外連絡部副部長が、KPオリ首相をはじめとする主要政党の党首と会談した。</p>
--	--